

# 令和5年度 当初予算(案)の概要



令和5年2月  
磐田市



# 目 次

1	令和5年度磐田市予算総括表	1
2	一般会計の概要	
	(1) 目的別予算の状況(款別)	3
	(2) 性質別予算の状況	11
	(3) 一般会計予算額等の推移	16
	(4) 市債・基金残高の推移	17
3	その他の会計の概要	
	(1) 特別会計	19
	(2) 企業会計	21

## 【参考資料】

	令和5年度予算編成の基本方針	22
--	----------------	----

注)本資料における表及びグラフの各区分ごとの比率や金額は、四捨五入による端数処理のため、各区分の数値を合計した場合、合計欄の数値と一致しない場合があります。

# 1. 令和5年度磐田市予算総括表

(単位：千円、%)

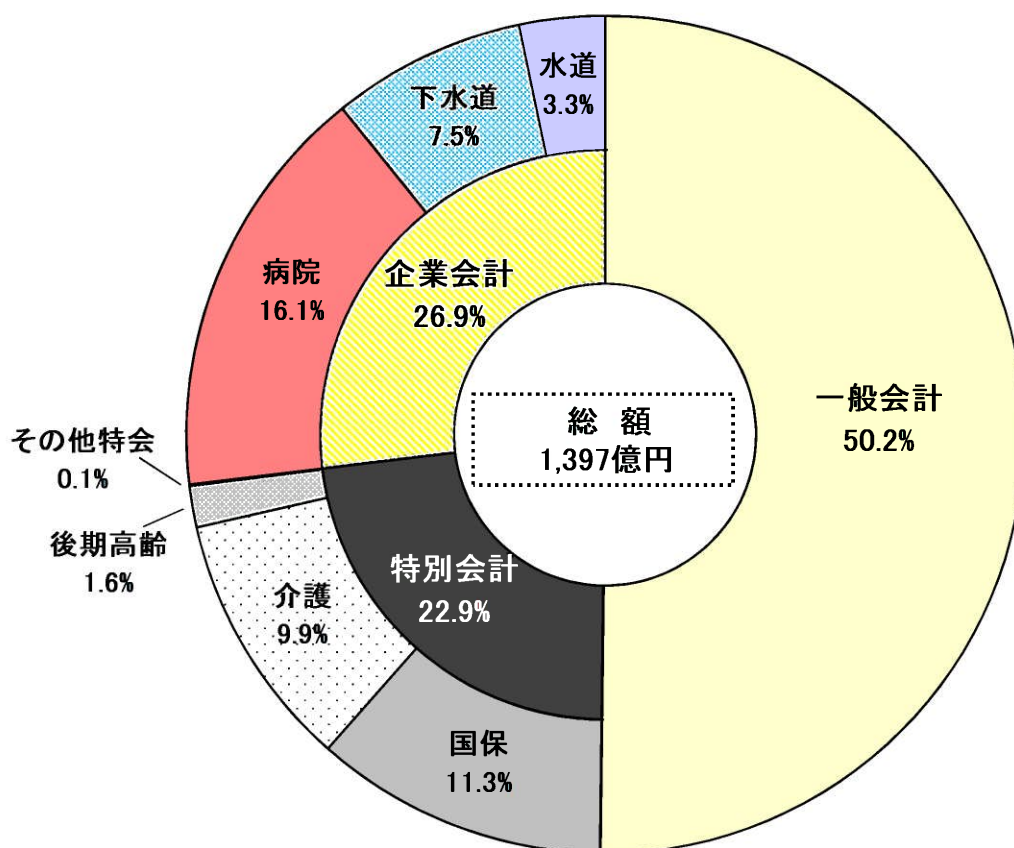
会計名称	令和5年度予算額	令和4年度予算額	増減額	伸率
一般会計	70,110,000	64,830,000	5,280,000	8.1
駐車場事業特別会計	86,146	86,007	139	0.2
国民健康保険事業特別会計	15,826,494	16,473,804	△ 647,310	△ 3.9
後期高齢者医療事業特別会計	2,250,302	2,183,823	66,479	3.0
介護保険事業特別会計	13,862,134	13,764,422	97,712	0.7
広瀬財産区特別会計	202	211	△ 9	△ 4.3
岩室財産区特別会計	76	77	△ 1	△ 1.3
虫生財産区特別会計	140	140	0	0.0
万瀬財産区特別会計	440	475	△ 35	△ 7.4
特別会計合計	32,025,934	32,508,959	△ 483,025	△ 1.5

水道事業会計	収益	収入	3,015,655	3,017,389	△ 1,734	△ 0.1
		支出	2,792,728	2,857,990	△ 65,262	△ 2.3
	資本	収入	619,316	656,886	△ 37,570	△ 5.7
		支出	1,810,092	1,910,713	△ 100,621	△ 5.3
下水道事業会計	収益	収入	6,422,828	6,357,128	65,700	1.0
		支出	6,156,058	5,989,640	166,418	2.8
	資本	収入	2,460,092	2,552,038	△ 91,946	△ 3.6
		支出	4,330,043	4,526,310	△ 196,267	△ 4.3
病院事業会計	収益	収入	19,524,249	18,974,993	549,256	2.9
		支出	20,114,684	19,543,027	571,657	2.9
	資本	収入	1,479,067	1,942,001	△ 462,934	△ 23.8
		支出	2,366,068	2,835,255	△ 469,187	△ 16.5
企業会計合計 (※)			37,569,673	37,662,935	△ 93,262	△ 0.2

(※) 収益的支出と資本的支出の合計額

全体合計	139,705,607	135,001,894	4,703,713	3.5
------	-------------	-------------	-----------	-----

## 会計別予算額の構成比



## 予算規模の概要

### 1 一般会計

前年度比 52億8,000万円、8.1%増の701億1,000万円です。

海岸堤防の整備や向陽学府小中一体校の整備の推進、小中学校の長寿命化や空調等の施設整備、市役所本庁舎や体育施設等の公共施設の長寿命化・改修など、普通建設事業費や維持補修費が増額となることに加え、物価高騰に伴う光熱水費や委託料等、物件費の増額、また、災害復旧費を含めた防災・減災対策経費、新型コロナウイルスワクチン接種経費、地域振興基金積立金などの計上もあり、一般会計全体では増額となりました。

### 2 特別会計

前年度比 4億8,302万5千円、1.5%減の320億2,593万4千円です。

高齢者人口の増などに伴う給付費の増加による介護保険事業特別会計の増額や、被保険者数の増などに伴う広域連合への納付金の増加による後期高齢者医療事業特別会計の増額はあるものの、被保険者数の減などに伴う給付費の減少による国民健康保険事業特別会計の減額により、特別会計全体では減額となりました。

### 3 企業会計

前年度比 9,326万2千円、0.2%減の375億6,967万3千円です。

建設改良費の減などによる水道事業会計の減額や大島排水ポンプ場建設工事の減などによる下水道事業会計の減額などにより、企業会計全体では減額となりました。

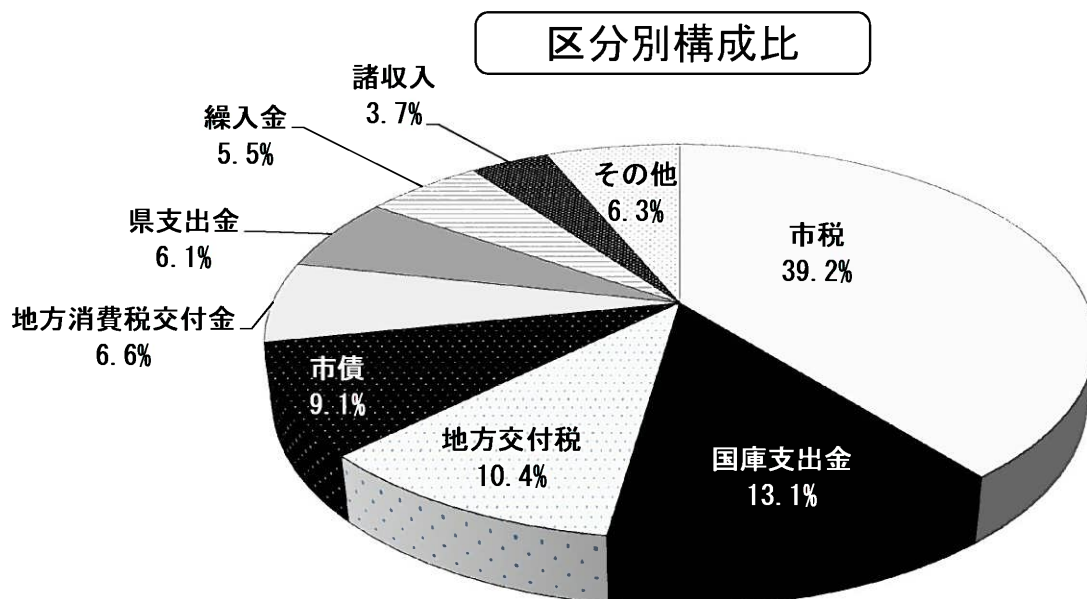
## 2. 一般会計の概要

### (1) 目的別予算の状況(款別)

#### ① 歳入

(単位：千円、%)

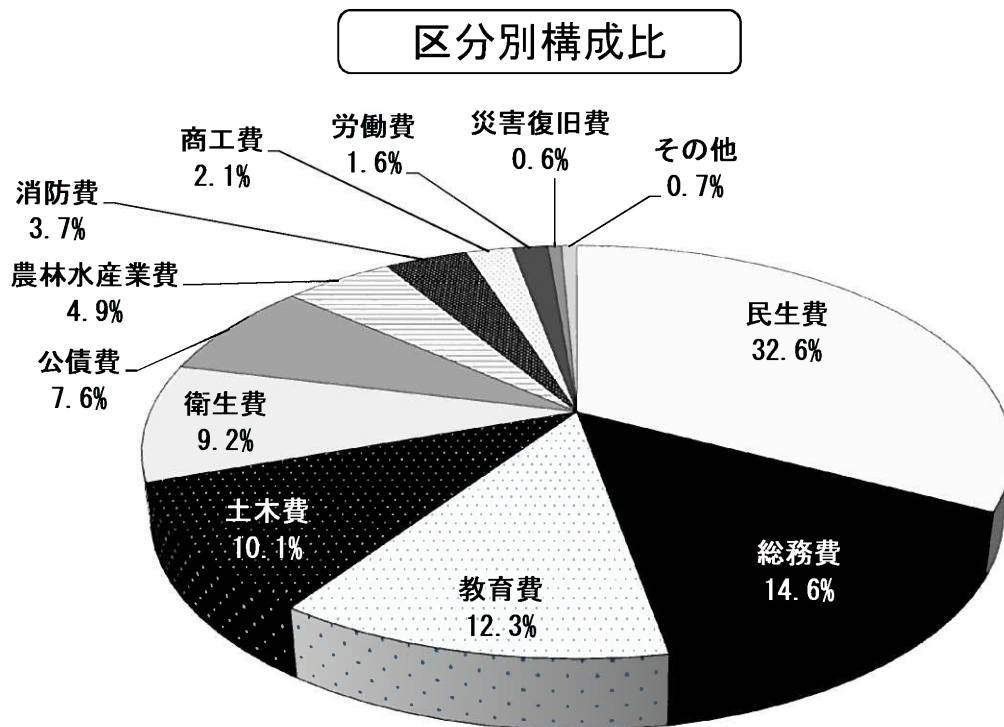
区 分 (款)	令和5年度		令和4年度		増減額 C A-B	伸 率 C/B
	予算額 A	構成比(%)	予算額 B	構成比(%)		
1 市税	27,495,450	39.2	26,958,920	41.6	536,530	2.0
2 地方譲与税	683,000	1.0	722,000	1.1	△ 39,000	△ 5.4
3 利子割交付金	13,000	0.0	18,000	0.0	△ 5,000	△ 27.8
4 配当割交付金	140,000	0.2	130,000	0.2	10,000	7.7
5 株式等譲渡所得割交付金	140,000	0.2	210,000	0.3	△ 70,000	△ 33.3
6 法人事業税交付金	470,000	0.7	470,000	0.7	0	0.0
7 地方消費税交付金	4,600,000	6.6	4,000,000	6.2	600,000	15.0
8 ゴルフ場利用税交付金	37,000	0.1	38,000	0.1	△ 1,000	△ 2.6
9 環境性能割交付金	110,000	0.2	115,000	0.2	△ 5,000	△ 4.3
10 地方特例交付金	264,000	0.4	254,000	0.4	10,000	3.9
11 地方交付税	7,300,000	10.4	6,600,000	10.2	700,000	10.6
12 交通安全対策特別交付金	41,000	0.1	42,000	0.1	△ 1,000	△ 2.4
13 分担金及び負担金	404,594	0.6	334,786	0.5	69,808	20.9
14 使用料及び手数料	685,272	1.0	719,630	1.1	△ 34,358	△ 4.8
15 国庫支出金	9,189,497	13.1	8,748,267	13.5	441,230	5.0
16 県支出金	4,246,899	6.1	4,204,000	6.5	42,899	1.0
17 財産収入	344,122	0.5	81,282	0.1	262,840	323.4
18 寄附金	1,005,048	1.4	1,406,306	2.2	△ 401,258	△ 28.5
19 繰入金	3,865,570	5.5	2,217,262	3.4	1,648,308	74.3
20 繰越金	150,000	0.2	150,000	0.2	0	0.0
21 諸収入	2,566,948	3.7	2,614,647	4.0	△ 47,699	△ 1.8
22 市債	6,358,600	9.1	4,795,900	7.4	1,562,700	32.6
歳入合計	70,110,000	100.0	64,830,000	100.0	5,280,000	8.1



② 歳出

(単位：千円、%)

区 分 (款)	令和5年度		令和4年度		増減額 C A-B	伸 率 C/B
	予算額 A	構成比(%)	予算額 B	構成比(%)		
1 議会費	335,398	0.5	345,711	0.5	△ 10,313	△ 3.0
2 総務費	10,253,032	14.6	8,627,824	13.3	1,625,208	18.8
3 民生費	22,818,822	32.6	22,552,436	34.8	266,386	1.2
4 衛生費	6,480,044	9.2	6,510,559	10.0	△ 30,515	△ 0.5
5 労働費	1,127,293	1.6	1,116,591	1.7	10,702	1.0
6 農林水産業費	3,423,040	4.9	2,678,332	4.1	744,708	27.8
7 商工費	1,457,797	2.1	1,162,493	1.8	295,304	25.4
8 土木費	7,097,988	10.1	7,036,174	10.9	61,814	0.9
9 消防費	2,563,972	3.7	2,488,739	3.8	75,233	3.0
10 教育費	8,650,826	12.3	6,902,454	10.6	1,748,372	25.3
11 災害復旧費	448,411	0.6	5	0.0	448,406	8,968,120.0
12 公債費	5,353,377	7.6	5,308,682	8.2	44,695	0.8
13 予備費	100,000	0.1	100,000	0.2	0	0.0
歳出合計	70,110,000	100.0	64,830,000	100.0	5,280,000	8.1



### ③ 市税の概要

(単位：千円)

税目	令和5年度	構成比(%)	令和4年度	構成比(%)	増減額	伸率(%)
市民税	11,416,425	41.5	11,001,969	40.8	414,456	3.8
個人	9,721,920		9,538,478		183,442	1.9
現年課税分	9,661,183		9,458,319		202,864	2.1
滞納繰越分	60,737		80,159		△ 19,422	△ 24.2
法人	1,694,505		1,463,491		231,014	15.8
現年課税分	1,693,820		1,462,505		231,315	15.8
滞納繰越分	685		986		△ 301	△ 30.5
固定資産税	12,979,251	47.2	12,919,302	47.9	59,949	0.5
固定資産税	12,958,336		12,898,280		60,056	0.5
現年課税分	12,938,297		12,858,623		79,674	0.6
滞納繰越分	20,039		39,657		△ 19,618	△ 49.5
国有資産等交付金	20,915		21,022		△ 107	△ 0.5
現年課税分	20,915		21,022		△ 107	△ 0.5
軽自動車税	643,361	2.3	623,547	2.3	19,814	3.2
環境性能割	34,944		33,456		1,488	4.4
現年課税分	34,944		33,456		1,488	4.4
種別割	608,417		590,091		18,326	3.1
現年課税分	605,692		587,097		18,595	3.2
滞納繰越分	2,725		2,994		△ 269	△ 9.0
市たばこ税	952,529	3.5	927,736	3.4	24,793	2.7
現年課税分	952,529		927,736		24,793	2.7
入湯税	1	0.0	1	0.0	0	0.0
都市計画税	1,503,883	5.5	1,486,365	5.5	17,518	1.2
現年課税分	1,501,505		1,480,481		21,024	1.4
滞納繰越分	2,378		5,884		△ 3,506	△ 59.6
合計	27,495,450	100.0	26,958,920	100.0	536,530	2.0
現年課税分	27,408,886		26,829,240		579,646	2.2
滞納繰越分	86,564		129,680		△ 43,116	△ 33.2

#### 1 市民税

個人市民税は、景気を持ち直し等による給与所得の増加を見込み、前年度比1.9%、1億8,344万2千円の増額、法人市民税は、原材料価格高騰の影響を受けつつも業績が堅調に推移するとした法人があることから、前年度比15.8%、2億3,101万4千円の増額を見込み、全体では前年度比3.8%、4億1,445万6千円増の114億1,642万5千円を見込みました。

#### 2 固定資産税

家屋の新增築による増額により、全体では前年度比0.5%、5,994万9千円増の129億7,925万1千円を見込みました。

#### 3 軽自動車税

環境性能割は、新規検査台数の増加、種別割は、税率区分の高い車両の増加などにより、全体では前年度比3.2%、1,981万4千円増の6億4,336万1千円を見込みました。

#### 4 市たばこ税

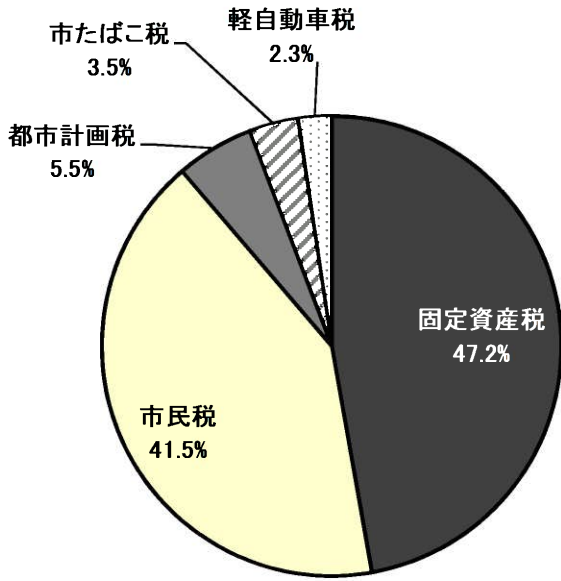
消費実績を勘案し、前年度比2.7%、2,479万3千円増の9億5,252万9千円を見込みました。

#### 5 都市計画税

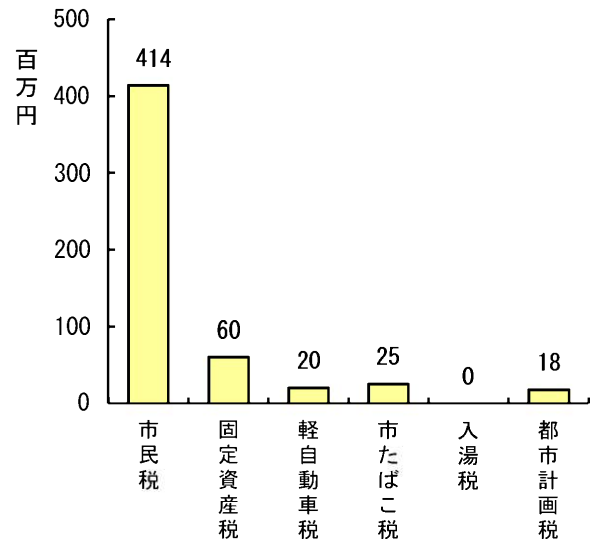
固定資産税同様に、家屋の新增築による増額により、全体では前年度比1.2%、1,751万8千円増の15億388万3千円を見込みました。



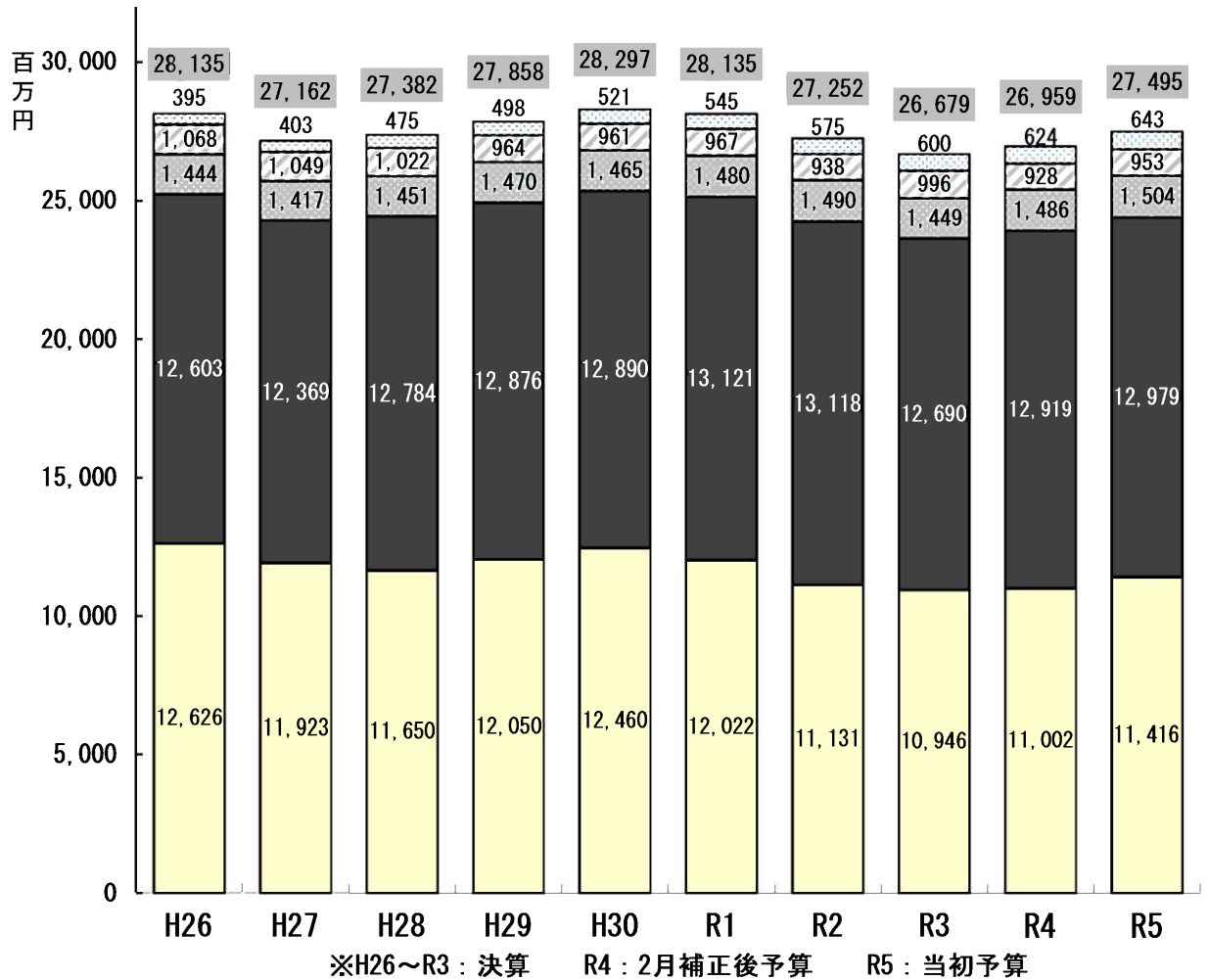
### 税目別構成



### 税目別対前年度増減額



### 税目別推移



□①市民税 ■②固定資産税 □③都市計画税 □④市たばこ税 □⑤その他の税 ■合計

#### ④ その他の歳入の概要

##### 1 譲与税・県税交付金

国の地方財政計画や令和3年度決算額、令和4年度の決算見込額などを勘案し、地方消費税交付金は、物価高騰等の影響を踏まえ、前年度比6億円増の46億円を見込みました。

##### 2 地方交付税

普通交付税において、市税収入等の増額に伴い、普通交付税算定上の財源不足額は減少が見込まれるものの、財源不足額に対する臨時財政対策債への振替割合が大きく減少していることや国の交付税総額が増加していることなどを勘案し、特別交付税と合わせ前年度比7億円増の73億円を見込みました。

##### 3 分担金及び負担金

中東遠消防指令センター運営事業負担金の増などにより、前年度比6,980万8千円増の4億459万4千円を見込みました。

##### 4 使用料及び手数料

ごみ処理手数料や急患センター診療収入の減などにより、前年度比3,435万8千円減の6億8,527万2千円を見込みました。

##### 5 国庫支出金

新型コロナウイルスワクチン接種事業に係る補助金・負担金の減などはあるものの、三ヶ野新貝こ線橋撤去に係る道路局所管補助金や下田橋復旧工事に係る道路橋りょう災害復旧費補助金、保育所等整備交付金の増などにより、前年度比4億4,123万円増の91億8,949万7千円を見込みました。

##### 6 県支出金

地域産業立地事業費補助金や介護サービス提供体制整備促進事業費補助金の減はあるものの、担い手育成総合対策事業費補助金や静岡県議会議員選挙費委託金の増などにより、前年度比4,289万9千円増の42億4,689万9千円を見込みました。

##### 7 財産収入

市有地の売却に係る土地売払収入の増により、前年度比2億6,284万円増の3億4,412万2千円を見込みました。

## 8 寄附金

ふるさと納税寄附金の減により、前年度比4億125万8千円減の10億504万8千円を見込みました。

## 9 繰入金

財政調整基金繰入金、公共施設整備基金繰入金及び津波対策事業基金繰入金の増により、前年度比16億4,830万8千円増の38億6,557万円を見込みました。

## 10 諸収入

住宅建設資金協調融資制度貸付金元金収入の減などにより、前年度比4,769万9千円減の25億6,694万8千円を見込みました。

## 12 市債

臨時財政対策債の減や旧市民文化会館の解体に係る総務債の文化振興施設整備事業の皆減はあるものの、教育債の向陽学府一体校整備事業の皆増や小中学校施設整備事業の増、農林水産業債の海岸堤防整備事業の増などに加え、地域振興基金積立事業債の皆増により、前年度比15億6,270万円増の63億5,860万円を見込みました。

なお、特例債である臨時財政対策債は、国の地方債計画で総額が減になっていること等を勘案し、前年度比15億円減の6億円を見込みました。

## ⑤ 目的別歳出の概要

### 1 議会費

備品購入費の減などにより前年度比 1,031 万 3 千円減の 3 億 3,539 万 8 千円を計上しました。

### 2 総務費

解体工事終了に伴う旧市民文化会館・文化振興センター施設管理事業の皆減や、事業移管に伴うふるさと納税推進事務の減、定年延長に伴う職員退職手当の減などはあるものの、地域振興基金、公共施設整備基金、退職手当基金など基金積立金の増や、施設の改修・長寿命化に伴う体育施設管理事業、市役所本庁舎改修事業、竜洋なぎの木会館施設管理事業の増などにより、前年度比 16 億 2,520 万 8 千円増の 102 億 5,303 万 2 千円を計上しました。

### 3 民生費

民間認可保育園施設等整備事業や障害児等福祉サービス事業の増などにより、前年度比 2 億 6,638 万 6 千円増の 228 億 1,882 万 2 千円を計上しました。

### 4 衛生費

i ぽーと出産・子育て安心事業の皆増や予防接種事業の増などはあるものの、新型コロナウイルスワクチン接種事業の減などにより、前年度比 3,051 万 5 千円減の 64 億 8,004 万 4 千円を計上しました。

### 5 労働費

勤労者協調融資事業の減はあるものの、勤労者総合福祉センター施設管理事業の増により、前年度比 1,070 万 2 千円増の 11 億 2,729 万 3 千円を計上しました。

### 6 農林水産業費

海岸堤防整備事業の増などにより、前年度比 7 億 4,470 万 8 千円増の 34 億 2,304 万円を計上しました。

### 7 商工費

企業立地推進事業の減や中小企業支援事業の減などはあるものの、事業移管に伴うふるさと納税推進事務の増や商工業団体支援事業の増などにより、前年度比 2 億 9,530 万 4 千円増の 14 億 5,779 万 7 千円を計上しました。

## 8 土木費

公共下水道事業負担金の減や解体工事終了に伴う風力発電所施設管理事業の皆減はあるものの、鎌田第一土地区画整理支援事業や大藤1号線改良事業、普通河川等改修事業の増などにより、前年度比 6,181 万4千円増の 70 億 9,798 万8千円を計上しました。

## 9 消防費

常備消防車両更新事業の減はあるものの、中東遠消防指令センター運営事業や常備消防庁舎施設管理事業の増などにより、前年度比 7,523 万3千円増の 25 億 6,397 万2千円を計上しました。

## 10 教育費

向陽学府新たな学校づくり整備事業、小・中学校の施設整備事業や空調設置事業、学校給食食材調達事業の増などにより、前年度比 17 億 4,837 万2千円増の 86 億 5,082 万6千円を計上しました。

## 11 災害復旧費

台風 15 号で被災した下田橋の復旧工事に伴う道路橋りょう災害復旧事業や農業用施設・林業施設の災害復旧事業を実施するため、4億 4,841 万1千円を計上しました。

## 12 公債費

合併特例債の元金償還額の増などにより、前年度比 4,469 万5千円増の 53 億 5,337 万7千円を計上しました。

一般会計の市債の年度末残高見込みは、令和3年度末が 567 億 6,901 万円、令和4年度末見込が 558 億 6,535 万2千円、令和5年度末見込が 570 億 3,177 万1千円です。

(2) 性質別予算の状況

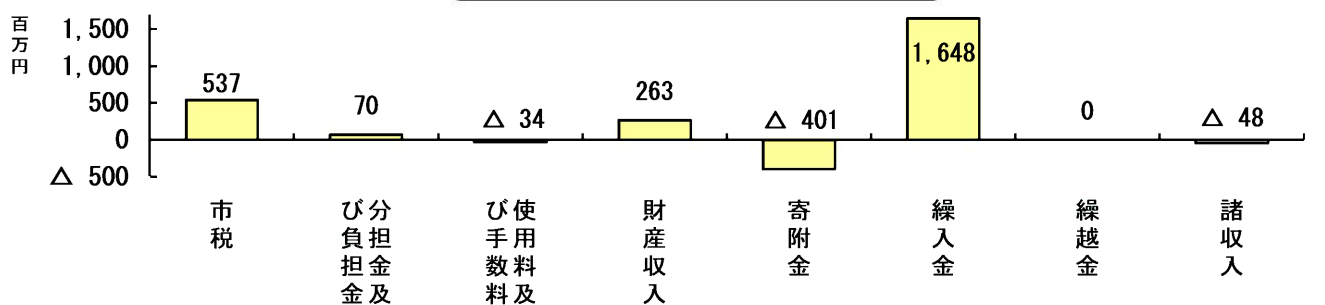
① 歳入

(単位：千円、%)

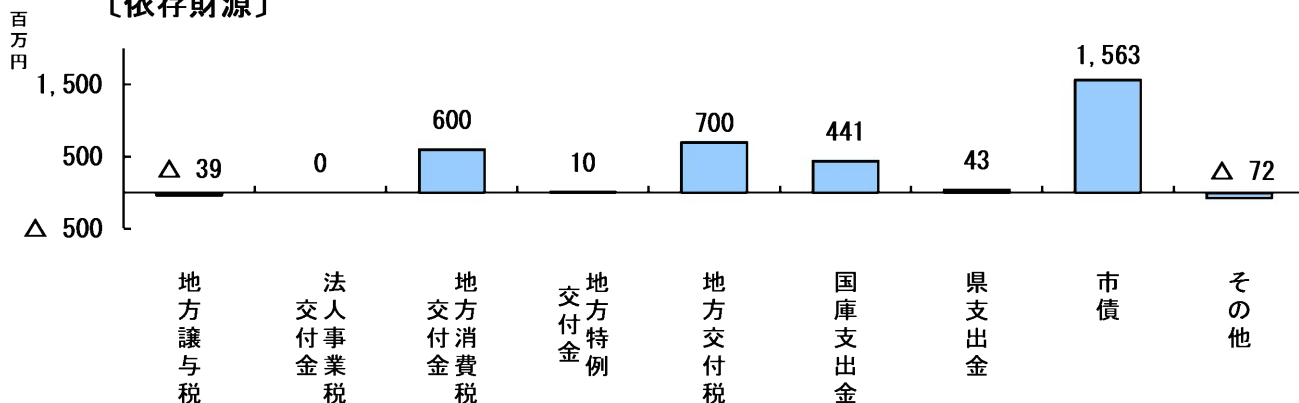
区 分	令和5年度		令和4年度		増減額 C A-B	伸 率 C/B	
	予算額 A	構成比(%)	予算額 B	構成比(%)			
自主財源	市税	27,495,450	39.2	26,958,920	41.6	536,530	2.0
	分担金及び負担金	404,594	0.6	334,786	0.5	69,808	20.9
	使用料及び手数料	685,272	1.0	719,630	1.1	△ 34,358	△ 4.8
	財産収入	344,122	0.5	81,282	0.1	262,840	323.4
	寄附金	1,005,048	1.4	1,406,306	2.2	△ 401,258	△ 28.5
	繰入金	3,865,570	5.5	2,217,262	3.4	1,648,308	74.3
	繰越金	150,000	0.2	150,000	0.2	0	0.0
	諸収入	2,566,948	3.7	2,614,647	4.0	△ 47,699	△ 1.8
	小 計	36,517,004	52.1	34,482,833	53.2	2,034,171	5.9
依存財源	地方譲与税	683,000	1.0	722,000	1.1	△ 39,000	△ 5.4
	利子割交付金	13,000	0.0	18,000	0.0	△ 5,000	△ 27.8
	配当割交付金	140,000	0.2	130,000	0.2	10,000	7.7
	株式等譲渡所得割交付金	140,000	0.2	210,000	0.3	△ 70,000	△ 33.3
	法人事業税交付金	470,000	0.7	470,000	0.7	0	0.0
	地方消費税交付金	4,600,000	6.6	4,000,000	6.2	600,000	15.0
	ゴルフ場利用税交付金	37,000	0.1	38,000	0.1	△ 1,000	△ 2.6
	環境性能割交付金	110,000	0.2	115,000	0.2	△ 5,000	△ 4.3
	地方特例交付金	264,000	0.4	254,000	0.4	10,000	3.9
	地方交付税	7,300,000	10.4	6,600,000	10.2	700,000	10.6
	交通安全対策特別交付金	41,000	0.1	42,000	0.1	△ 1,000	△ 2.4
	国庫支出金	9,189,497	13.1	8,748,267	13.5	441,230	5.0
	県支出金	4,246,899	6.1	4,204,000	6.5	42,899	1.0
	市債	6,358,600	9.1	4,795,900	7.4	1,562,700	32.6
	小 計	33,592,996	47.9	30,347,167	46.8	3,245,829	10.7
歳入合計	70,110,000	100.0	64,830,000	100.0	5,280,000	8.1	

〔自主財源〕

財源別対前年度増減額

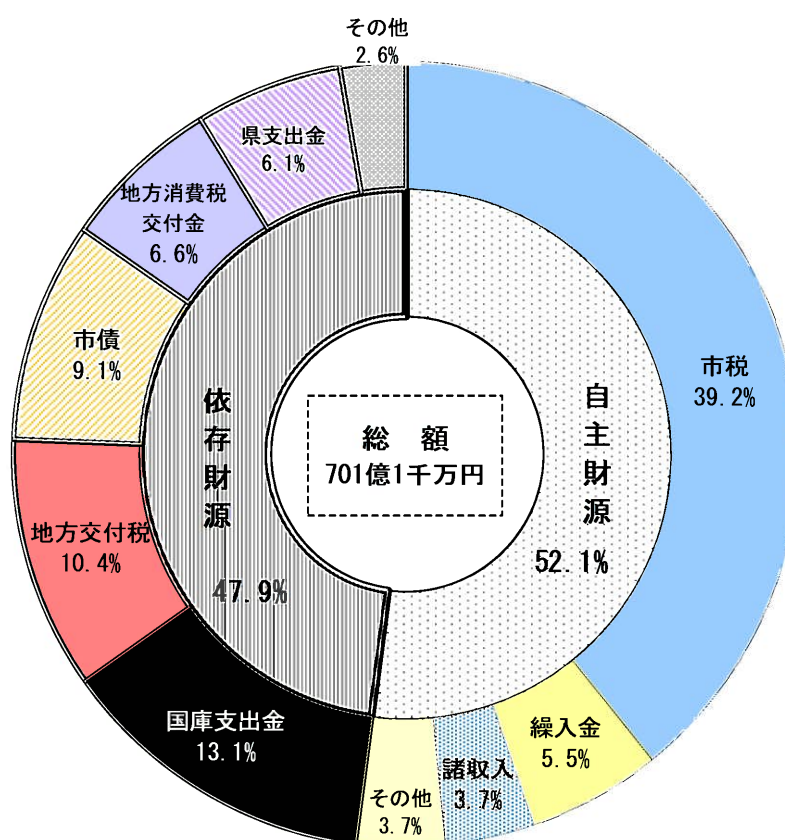


〔依存財源〕



## ② 財源の構成比

### 自主財源・依存財源の内訳及び構成比



#### 1 自主財源

ふるさと納税寄附金の減額などはあるものの、景気の持ち直し等による個人・法人市民税など市税の増額、財政調整基金繰入金、公共施設整備基金繰入金、津波対策事業基金繰入金の増額、普通財産売払収入の増額などにより、前年度比20億3,417万1千円増の365億1,700万4千円を見込みました。

#### 2 依存財源

臨時財政対策債の減額や旧市民文化会館の解体に係る市債の減額などはあるものの、国の地方財政計画を勘案した地方交付税や地方消費税交付金の増額、地域振興基金の積立や向陽学府小中一体校、海岸堤防などの整備に伴う市債の増額、三ヶ野新貝こ線橋の撤去や災害復旧事業に対する国庫補助金の増額などにより、前年度比32億4,582万9千円増の335億9,299万6千円を見込みました。

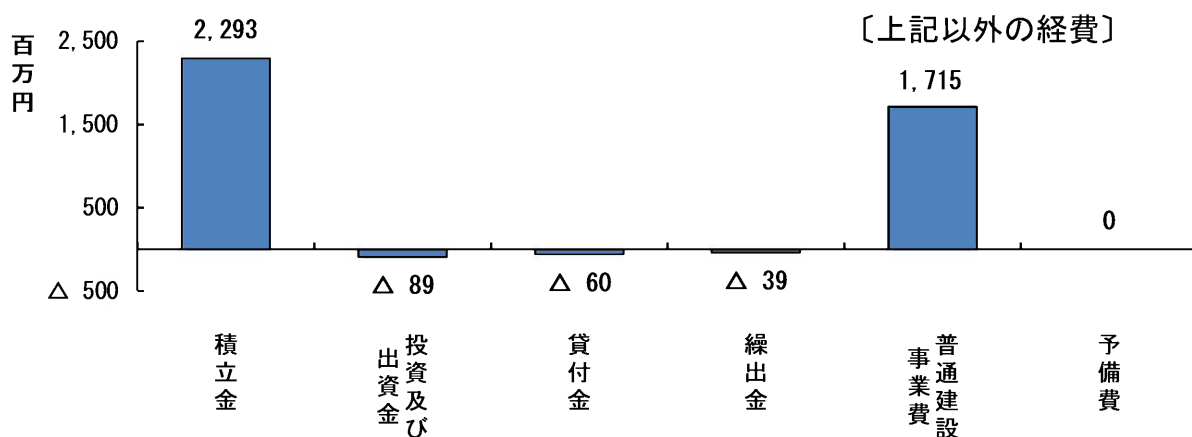
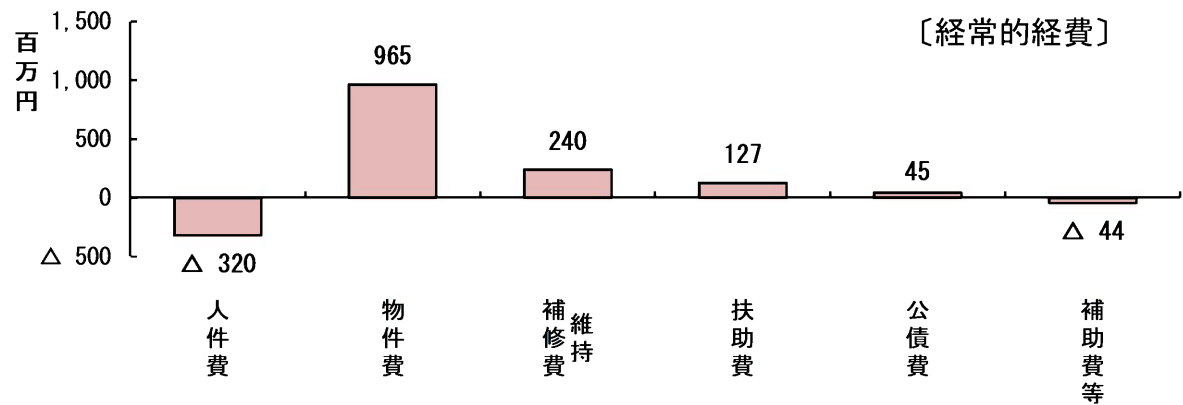
構成比は、自主財源は前年度比1.1ポイント減の52.1%、依存財源は47.9%となりました。

③ 歳出

(単位：千円、%)

区 分	令和5年度		令和4年度		増減額 C A-B	伸 率 C/B	
	予算額	A 構成比(%)	予算額	B 構成比(%)			
経常的経費	人件費	11,102,124	15.8	11,422,528	17.6	△ 320,404	△ 2.8
	物件費	11,891,190	17.0	10,926,370	16.9	964,820	8.8
	維持補修費	1,139,994	1.6	899,627	1.4	240,367	26.7
	扶助費	13,342,788	19.0	13,215,868	20.4	126,920	1.0
	公債費	5,353,377	7.6	5,308,682	8.2	44,695	0.8
	補助費等	6,749,024	9.6	6,793,110	10.5	△ 44,086	△ 0.6
	小 計	49,578,497	70.7	48,566,185	74.9	1,012,312	2.1
その他の経費	積立金	3,047,856	4.3	755,041	1.2	2,292,815	303.7
	投資及び出資金	1,735,086	2.5	1,823,639	2.8	△ 88,553	△ 4.9
	貸付金	961,176	1.4	1,021,582	1.6	△ 60,406	△ 5.9
	繰出金	5,317,981	7.6	5,357,330	8.3	△ 39,349	△ 0.7
	小 計	11,062,099	15.8	8,957,592	13.8	2,104,507	23.5
投資的経費	普通建設事業費	8,920,993	12.7	7,206,218	11.1	1,714,775	23.8
	災害復旧事業費	448,411	0.6	5	0.0	448,406	8,968,120.0
	小 計	9,369,404	13.4	7,206,223	11.1	2,163,181	30.0
予備費	100,000	0.1	100,000	0.2	0	0.0	
合 計	70,110,000	100.0	64,830,000	100.0	5,280,000	8.1	

性質別対前年度増減額





#### ④ 性質別歳出の概要

##### 1 人件費

人事院勧告に基づく正規職員の勤勉手当の増はあるものの、定年延長に伴う職員退職手当の減などにより、前年度比3億 2,040 万4千円減の 111 億 212 万4千円となりました。

##### 2 物件費

新型コロナウイルスワクチン接種事業に伴う委託料の減はあるものの、向陽学府小中一体校整備に伴う仮設校舎賃借料、学校給食食材料費や予防接種医師委託料の増に加え、電気料金の高騰などの影響に伴う光熱水費の増などにより、前年比9億 6,482 万円増の 118 億 9,119 万円となりました。

##### 3 維持補修費

体育施設の改修・修繕に係る経費の増などにより、前年度比2億 4,036 万7千円増の 11 億 3,999 万4千円となりました。

##### 4 扶助費

障害児等福祉サービス事業の施設給付費や民間認可保育園等の施設型給付費の増などにより、前年度比1億 2,692 万円増の 133 億 4,278 万8千円となりました。

##### 5 補助費等

出産・子育て応援交付金や磐田商工会議所会館建設事業費補助金の皆増はあるものの、公共下水道事業負担金やふるさと寄附金返礼品、企業立地に係る補助金の減などにより、前年度比 4,408 万6千円減の 67 億 4,902 万4千円となりました。

##### 6 積立金

地域振興基金積立金、公共施設整備基金積立金、職員退職手当基金積立金の増により、前年度比 22 億 9,281 万5千円増の 30 億 4,785 万6千円となりました。

##### 7 投資及び出資金

公共下水道事業出資金及び病院事業会計出資金の減により、前年度比 8,855 万3千円減の 17 億 3,508 万6千円となりました。

## 8 貸付金

勤労者協調融資事業による住宅建設資金協調融資制度貸付金の減により、前年度比 6,040 万6千円減の9億 6,117 万6千円となりました。

## 9 繰出金

国民健康保険事業特別会計繰出金の減などにより、前年度 3,934 万9千円減の 53 億 1,798 万1千円となりました。

## 10 普通建設事業費

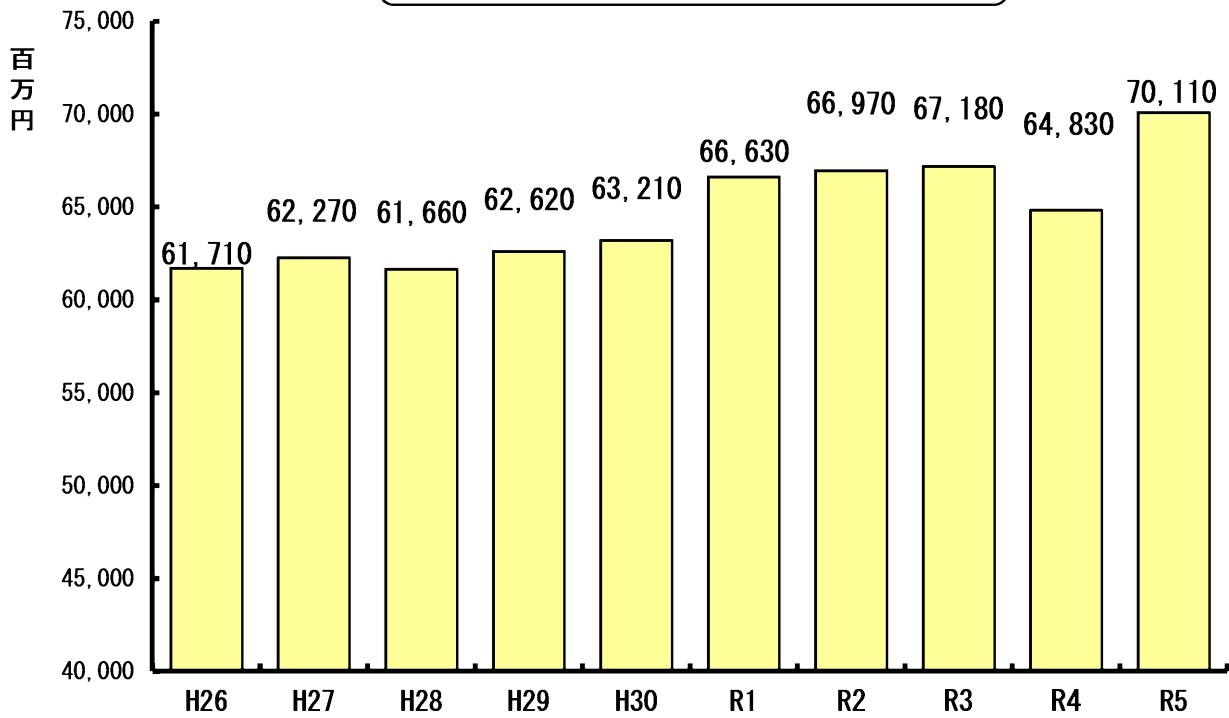
旧市民文化会館・文化振興センターの建物解体工事や鎌田第一土地区画整理事業費補助金の減はあるものの、海岸堤防整備事業や三ヶ野新貝こ線橋撤去工事協定委託料、向陽学府新たな学校づくり整備事業や小中学校施設整備事業、民間認可保育園施設整備に対する補助金の増などにより前年度比 17 億 1,477 万5千円増の 89 億 2,099 万3千円となりました。

## 11 災害復旧事業費

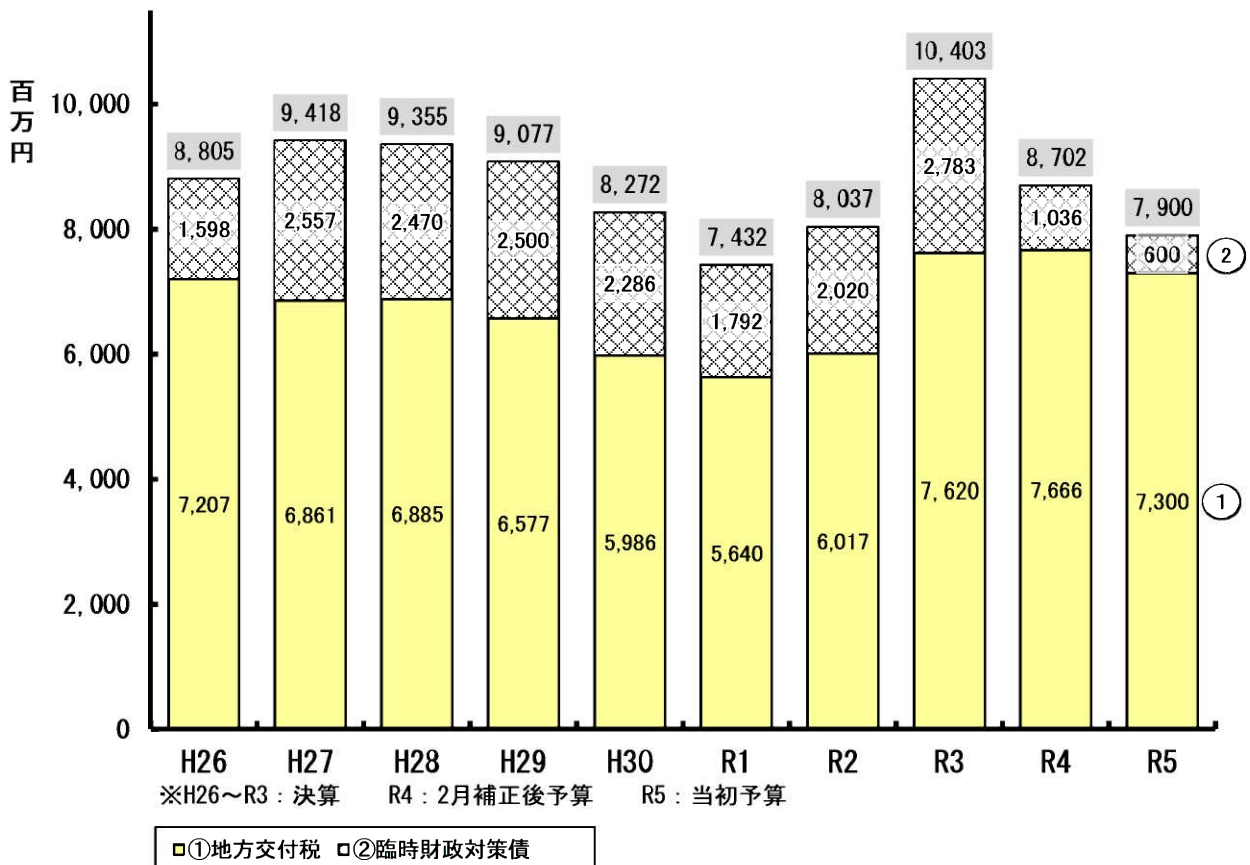
下田橋の復旧に係る道路橋りょう災害復旧事業や農業用施設及び林業施設の災害復旧事業により、4億 4,841 万1千円を計上しました。

(3) 一般会計当初予算額の推移等

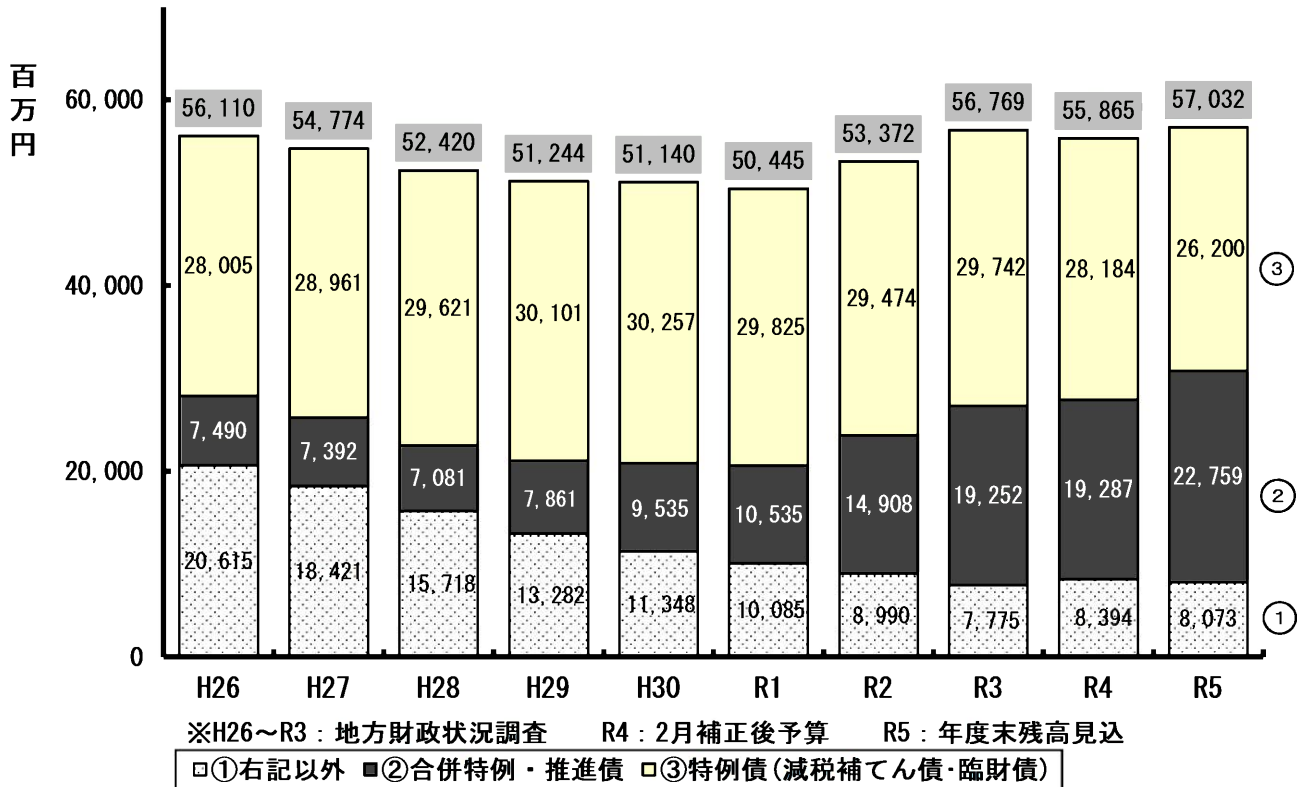
一般会計当初予算額の推移



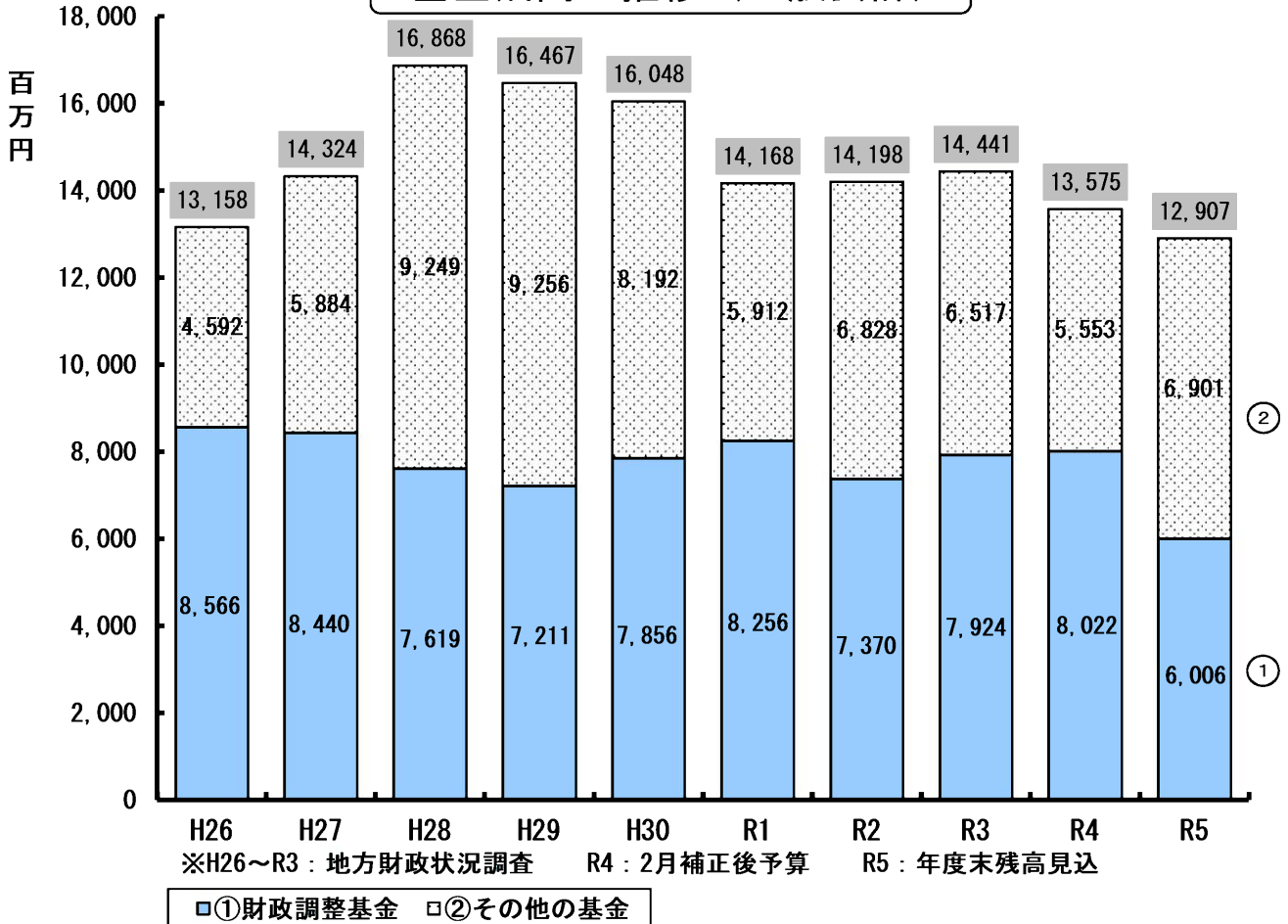
地方交付税・臨財債の推移



### 市債残高の推移(一般会計)

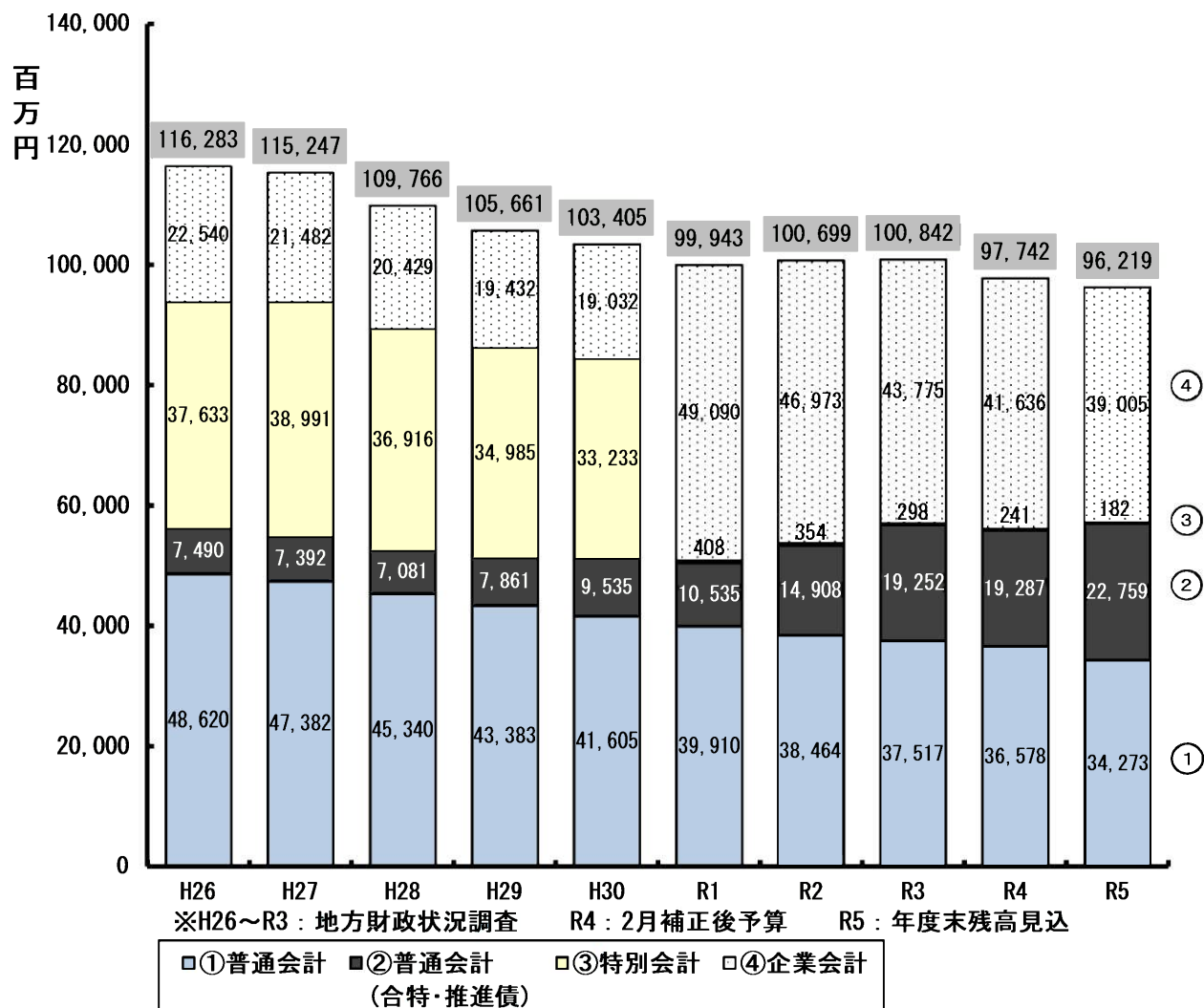


### 基金残高の推移(一般会計)



(4) 市債・基金残高の推移

市債残高の推移(全会計)



※令和元年度より農業集落排水事業及び公共下水道事業が特別会計から企業会計へ移行したことから、同会計の市債区分を変更しています。

### 3. その他の会計の概要

#### (1) 特別会計

##### ① 駐車場事業特別会計

リバーラ磐田市営駐車場の管理運営経費及び、借入金に対する元利償還金を計上しました。

(単位：千円)

R 5 年度予算額	R 4 年度予算額	増減額	増減率(%)
86,146	86,007	139	0.2

##### ② 国民健康保険事業特別会計

保険給付費、国民健康保険事業費納付金や保健事業費などの必要な経費を計上しました。主な財源は、保険税、県からの交付金や一般会計からの繰入金です。

(単位：千円)

R 5 年度予算額	R 4 年度予算額	増減額	増減率(%)
15,826,494	16,473,804	△ 647,310	△ 3.9

##### ③ 後期高齢者医療事業特別会計

後期高齢者医療事業の円滑な運営のため、広域連合納付金等の必要な経費を計上しました。主な財源は、後期高齢者医療保険料及び一般会計からの繰入金です。

(単位：千円)

R 5 年度予算額	R 4 年度予算額	増減額	増減率(%)
2,250,302	2,183,823	66,479	3.0

##### ④ 介護保険事業特別会計

介護保険事業計画に基づき、在宅及び施設における介護サービスの充実に伴う介護給付費等を計上しました。主な財源は、保険料、国・県・支払基金などからの負担金・交付金や一般会計からの繰入金です。

(単位：千円)

R 5 年度予算額	R 4 年度予算額	増減額	増減率(%)
13,862,134	13,764,422	97,712	0.7

⑤～⑧までの財産区特別会計は、財産区の管理運営に要する経費を計上したもので、主な内容は、財産区管理会の運営及び区有林の維持管理に要する経費です。

⑤ 広瀬財産区特別会計

(単位：千円)

R 5 年度予算額	R 4 年度予算額	増減額	増減率(%)
202	211	△ 9	△ 4.3

⑥ 岩室財産区特別会計

(単位：千円)

R 5 年度予算額	R 4 年度予算額	増減額	増減率(%)
76	77	△ 1	△ 1.3

⑦ 虫生財産区特別会計

(単位：千円)

R 5 年度予算額	R 4 年度予算額	増減額	増減率(%)
140	140	0	0.0

⑧ 万瀬財産区特別会計

(単位：千円)

R 5 年度予算額	R 4 年度予算額	増減額	増減率(%)
440	475	△ 35	△ 7.4

## (2) 企業会計

### ①水道事業会計

水道事業の業務予定量としては、給水戸数64,194戸、年間総給水量21,212,731<sup>m</sup><sub>3</sub>、一日平均給水量57,958<sup>m</sup><sub>3</sub>を見込みました。

資本的収支の不足額は、過年度分損益勘定留保資金等で補てんします。

(単位：千円)

		R 5年度予算額	R 4年度予算額	増減額	増減率(%)
収益	収入	3,015,655	3,017,389	△ 1,734	△ 0.1
	支出	2,792,728	2,857,990	△ 65,262	△ 2.3
資本	収入	619,316	656,886	△ 37,570	△ 5.7
	支出	1,810,092	1,910,713	△ 100,621	△ 5.3

### ②下水道事業会計

下水道事業の業務予定量としては、排水区域面積3,452ヘクタール、年間総処理水量15,770,000<sup>m</sup><sub>3</sub>、一日平均処理水量43,087<sup>m</sup><sub>3</sub>を見込みました。

資本的収支の不足額は、過年度分損益勘定留保資金等で補てんします。

(単位：千円)

		R 5年度予算額	R 4年度予算額	増減額	増減率(%)
収益	収入	6,422,828	6,357,128	65,700	1.0
	支出	6,156,058	5,989,640	166,418	2.8
資本	収入	2,460,092	2,552,038	△ 91,946	△ 3.6
	支出	4,330,043	4,526,310	△ 196,267	△ 4.3

### ③病院事業会計

病院事業の業務予定量としては、入院患者数1日平均446人、年間163,236人、外来患者数1日平均1,200人、年間291,600人を見込みました。

資本的収支の不足額は、過年度分損益勘定留保資金等で補てんします。

(単位：千円)

		R 5年度予算額	R 4年度予算額	増減額	増減率(%)
収益	収入	19,524,249	18,974,993	549,256	2.9
	支出	20,114,684	19,543,027	571,657	2.9
資本	収入	1,479,067	1,942,001	△ 462,934	△ 23.8
	支出	2,366,068	2,835,255	△ 469,187	△ 16.5



## ＜参考資料＞

# 令和5年度 予算編成の基本方針

## 1 基本目標

### 「安心できるまち・人が集まる磐田市」

## 2 優先施策

### ① 「子どもたちの安心」

今を生きる子どもたちや将来生まれてくる子どもたちのために、子育て家庭を支え、今悩みを抱える子どもや大人たちが、より良く暮らせるまちづくりを進めます。また、地域資源やICTを利用した最先端の教育により、令和をしなやかに生きることができる、たくましい若者に育てます。

### ② 「暮らしと健康の安心」

誰もが安心して医療や介護を受けられるよう、これからの時代を見据えた医療提供体制の整備や地域医療のインフラづくりに取り組むとともに、地域包括ケアシステムの推進を図ります。また、障がい者の自立を促進し、「互いに思いやりを持てる、誰一人取り残さないやさしいまち」を目指します。

### ③ 「まちづくりと防災への安心」

市民の生命と財産を守るため、磐田市国土強靱化地域計画に基づいた防災・減災対策を進め、災害に強いまちづくりに取り組みます。また、地球温暖化防止のためのカーボンニュートラルの推進や、将来の負担を抑える公共施設・インフラの整備及び維持管理を進めます。

### ④ 「未来と仕事の安心」

地域産業の活性化を図り雇用を創出するため、企業の新たな取り組みや事業継続を支えるとともに、大学や企業、関係機関との連携や創業・起業への支援を推進します。また、スポーツ・文化など、本市の価値ある素材を活用し、磐田の魅力を高めていきます。

### ⑤ 「安心できる市役所づくり」

若者や子どもたち、世代や性別を越えた多様な対話を進め、なんでも相談できる「安心できる市役所」を目指します。民間企業との連携や専門人材の活用を進めるとともに、地域の資源を磨き、価値を高め、魅力ある地域づくりを推進します。